

● 30年後のビジョンキャッチコピー

人を、場所を、時間を、きものが紡ぐまち 鎌倉

● 上記の策定背景

鎌倉は環境、人材、伝統、文化などあらゆるものの宝庫であり、新規に流入させるといよりは、むしろ活用することで未来の鎌倉市にとってよりよいものとなる。

そこで、人と人をつなげたコミュニティを活性化させることが最も重要である。特に、知識や経験が豊富な高齢者と、未来の鎌倉を担う若者との繋がりは欠かせない。

きものというキーワードで両者の接点を繋ぐとともに、きものを着る人が増えていくことで、きものスケールに最適化された市民による主体的な町づくりが行われる事を誘発する。

結果として、きものが似合うユニークな町になり、きものを着て利便が向上するニーズに合わせるように町が活性化していく。

● 重点政策

① きもの三箇条

- ・市民のきものへの意識を芽生えさせる
- ・きもの魅力を再発見してもらう。

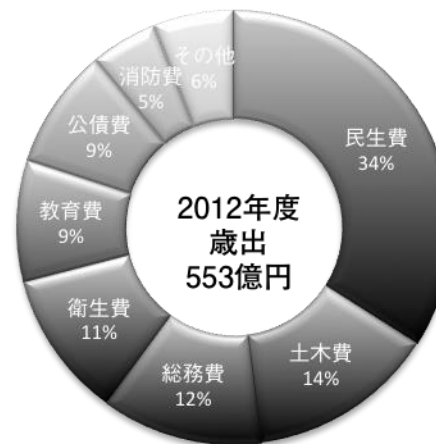
② きもの“得”区

- ・若宮大路の段葛、円覚寺～明月院の通りをきもの得区として指定
- ・特定の区域ではきものを着た人が歩くことを推奨する（道路標識設置）

③ きものステーション

- ・きもの得区内の既存の商店を協賛店として、きもの着崩れ直しやお手洗いを貸すなど、きもの歩きの不安を解消する。
- ・きものを着たお客様に対して拝観料の割引や特典の付与や観光案内、お土産物の販売などを促す。

● 予算表



民生費・福祉費の充実、新規産業活性化に予算を配分

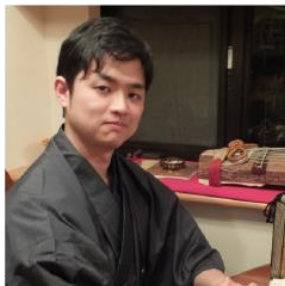


観光客の平均消費額を上げて自主財源比率を高くする





## FKC(Future Kamakura City) メンバー紹介



メンバー①

鈴木 瞬

“熱いリーダー”

職業：いつも楽しそうな  
ことをしてる人



メンバー②

柴田 万友美

“マスコットキャラ”

職業：呉服屋さん



メンバー③

伊藤 渚生

“面白書記キャラ”

職業：情報系学生 2年



メンバー④

宗石 真実

“現状分析のプロ”

職業：政治系学生 1年



メンバー⑤

田中 直人

“田中大先生”

職業：建築系学生 4年



アドバイザー①

川口 広

“ピュアなモノ書き”

職業：電子書籍作家



アドバイザー②

平田 慎二

“空間創造の天才”

職業：ファッション  
デザイナー



ありがとうございました！

(徹夜で政策を練った後、  
栄養ドリンクを持ったまま  
寝ている田中大先生)

## あとがき

本日は「未来鎌倉市」政策コンテスト決勝プレゼンテーションにお越し頂きありがとうございます。

政策案に込めた私たちの思いは、いまと未来の鎌倉をつなぐための種をまくことです。

行政や企業はまちづくりをサポートすることはできません。街区を整理し、大きな集合住宅やショッピングセンターを建てることはまちづくりではなく、開発です。

私たちの考えるまちづくりとは、その土地の持っている歴史や人、場所を未来の住人につないでいくことです。

住民のつくるまちはゆっくり少しずつ変化します。まちと一緒に人々の生活も変化して、そして政策以上の街が出来るのです。

## —まちづくりはひとづくり—

私たちが鎌倉にまいた種から芽が出て花になるのは、「鎌倉に住めて良かった」「鎌倉に来て良かった」という気持ちが人々の心の中に育まれるときです。

私たちFKCの鎌倉への思いが、ひとりでも多くの方に伝わりますように。

この「未来鎌倉市」政策コンテストを企画して頂いたドットジェイピーのスタッフを始め、多くの関係者各位、参加されたチームの皆様に出会えた事に大きな喜びとともに感謝を表します。

ご拝読ありがとうございました。

2012年12月15日 チームFKC一同